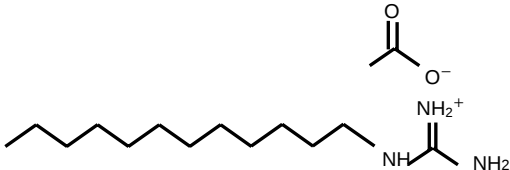


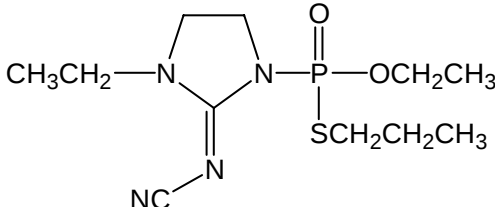
毒物及び劇物に指定するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート (別名：ドジン)	 $C_{15}H_{33}N_3O_2$ 分子量 287.4 CAS No. 2439-10-3	原体及びこれを含有する製剤	外観：若干黄色かかった微粒粉末 密度：0.983 (g/cm ³ 25℃) 融点：133.2℃ 沸点：約 200℃で分解 蒸気圧： $< 5.49 \times 10^{-6}$ Pa(50℃) 溶解性： 水 0.93 g/L (20℃、pH=6.9) 安定性：常温で安定 反応性：なし	原体： 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット ♀ 817 急性経皮毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット 5000 急性吸入毒性(ダスト) LC_{50} (mg/L) ラット ♀ 0.44 皮膚刺激性 ウサギ 軽度の刺激性 目刺激性 ウサギ 重度の刺激性 65%製剤： 急性吸入毒性(ダスト) LC_{50} (mg/L) ラット ♀ 0.959 皮膚刺激性 ウサギ 軽度の刺激性 目刺激性 ウサギ 重度の刺激性	農薬(殺菌剤)

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD_{50} (Lethal Dose 50)又は LC_{50} (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

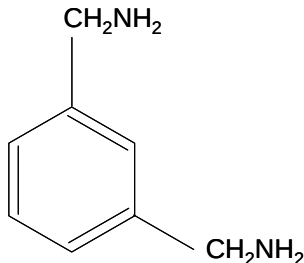
劇物に指定するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
0-エチル=S-プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート (別名：イミシアホス)	 $\text{CH}_3\text{CH}_2\text{—N—C(=N—CN)—N—P(=O)(\text{SCH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3)\text{—OCH}_2\text{CH}_3$ $\text{C}_{11}\text{H}_{21}\text{N}_4\text{O}_2\text{PS}$ 分子量 304.35 CAS No. 140163-89-9	原体及びこれを含む製剤 ただし、1.5%以下を含む製剤を除く	外観：透明液体 沸点：測定不能 融点：-53.3℃～-50.5℃ 溶解性：(20℃) 水 77.63g/L (pH4.5) n-ヘプタン 93mg/L 1,2-ジクロロメタン >1000g/L メタノール >1000g/L アセトン >1000g/L p-キシレン >1000g/L 安定性：174.5～225.8℃で分解 反応性：通常の条件で無し	原体： 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット 81.3 急性経皮毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット >2000 急性吸入毒性(ミスト) LC_{50} (mg/L) ラット ♂ 1.83 1.5%製剤： 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット 2000 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし 目刺激性 ウサギ 軽微な刺激性	農薬(殺虫剤)

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD_{50} (Lethal Dose 50)又は LC_{50} (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

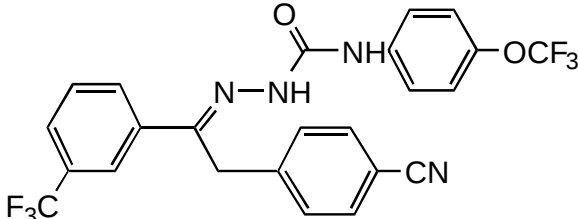
劇物に指定するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
3- (アミノメチル) ベンジルアミン	 $\text{C}_6\text{H}_4(\text{CH}_2\text{NH}_2)_2$ 分子量 136.20 CAS No. 1477-55-0	原体及びこれを含む製剤 ただし、8.0%以下を含む製剤を除く	外観:無色液体 融点:14.1℃以下 沸点:273℃ 蒸気圧:20hPa (145℃) 溶解度: 水に可溶 アルコール、エーテルには易溶 安定性:通常取り扱いでは安定 反応性:酸等と反応	原体: 急性経口毒性 $\text{LD}_{50}(\text{mg/kg})$ ラット ♀ 980 急性吸入毒性(ダスト又はミスト) $\text{LC}_{50}(\text{mg/L})$ ラット ♂ >1.42 ラット ♀ <u>0.8</u> 皮膚刺激性 <u>ウサギ 腐食性あり</u> 8.0%製剤: 急性吸入毒性 $\text{LC}_{50}(\text{mg/L})$ ラット >5.14 皮膚刺激性 <u>ウサギ 軽度の刺激性</u>	エポキシ樹脂硬化剤、ナイロンの原料、ポリウレタン原料

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD_{50} (Lethal Dose 50)又は LC_{50} (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

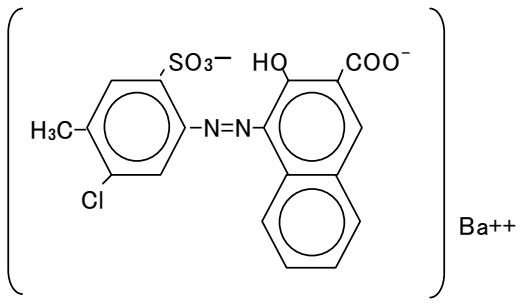
劇物から除外するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
(E)-2-{2-(4-シアノフェニル)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン}-N-[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ヒドラジンカルボキサミドと(Z)-2-{2-(4-シアノフェニル)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン}-N-[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ヒドラジンカルボキサミドとの混合物((E)-2-{2-(4-シアノフェニル)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン}-N-[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ヒドラジンカルボキサミド90%以上を含有し、かつ、(Z)-2-{2-(4-シアノフェニル)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン}-N-[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ヒドラジンカルボキサミド10%以下を含有するものに限る。) (別名：メタフルミゾン)	 $C_{24}H_{16}F_6N_4O_2$ 分子量 506.40 CAS No. 139968-49-3	原体及びこれを含む製剤	外観：白色粉末 融点：133℃～188℃ 沸点：263℃付近からの熱分解により測定不能 溶解性：(20℃) 水 1.79×10 ⁻⁶ g/L n-ヘキサン 0.0085g/L トルエン 4.0 g/L ジクロロメタン 98.8g/L アセトン 153.3g/L メタノール 14.1g/L 酢酸エチル 179.8g/L アセトニトリル 63.0g/L 安定性：約232℃まで安定 反応性：－	原体： 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >5000 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >5000 急性吸入毒性(ダストエアロゾル) LC ₅₀ (mg/L) ラット >5.2 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし 目刺激性 ウサギ 刺激性なし	農薬(殺虫剤)

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又はLC₅₀(Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物から除外するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
バリウム＝4- (5-クロロ-4-メチル-2-スルホナトフェニルアゾ) -3-ヒドロキシ-2-ナフトアート	 $C_{18}H_{11}ClN_2O_6SBa$ 分子量 556.15 CAS No. 7585-41-3	原体	外観:赤色粉末固体 融点:375℃で分解 沸点:375℃で分解 溶解性:(g/100g) 水 0.00011 DMSO 0.0014 オクタノール 0.00011 安定性:安定 反応性:－	原体: 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット 雌 >2500 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >2000 急性吸入毒性(ダスト) LD ₅₀ (mg/L) ラット 雄雌 >5.35 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし	印刷インキ、塗料、プラスチックの着色

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀ (Lethal Dose 50)又はLC₅₀ (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。